

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるシャトネラ マリナ(注1最大0.01細胞/ml確認されました。現在の細胞数は少ないですが、細胞数の急激な増加による被害発生の可能性も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またプロロセントラム属が最大0.17細胞/ml、アカシオ サンガイネアが最大0.1細胞/ml確認されました。当プランクトンは基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大1.36細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャトネラ	プロロセン	アカシオ	ギムノディニウム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	マリナ	トラム属	サンガイネア	カテナータム
片島(別図⑦) 採水時間 9:12 透明度 - m	3.0	27.5	33.4	5.6	0	0	0	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:24 透明度 - m	5.0	27.6	33.6	6.5	0	0.05	0	0
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:32 透明度 - m	3.0	27.8	33.4	5.0	0	0.17	0.01	0.04
青瀬山(別図③) 採水時間 9:45 透明度 - m	7.0	27.1	33.6	6.2	0.01	0.05	0.1	1.28
一切田(別図⑪) 採水時間 9:49 透明度 - m	5.0	27.5	33.6	6.4	0.01	0.07	0.05	0
弘浦②(別図①) 採水時間 10:02 透明度 - m	3.0	27.8	33.5	6.4	0	0.05	0.01	1.36
田ノ浦(別図⑧) 採水時間 10:12 透明度 - m	3.0	28.0	33.5	5.9	0	0	0	0

※被害が想定される赤潮プランクトンの細胞密度

注1. シャトネラ マリナ・・・注意報:1細胞/ml、警報:10細胞/ml